

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号	Ⅱ-2-地域公共交通
------	------------

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。  
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1. 調査、検討すべき事項とその内容																								
(1) 既存の公共交通ネットワークの調査																								
立地適正化計画によって設定された、居住誘導区域や都市機能誘導区域に接続されている公共交通ネットワークを調査する。調査にあたっては、実際に公共交通に乗車し乗車環境や停留所アクセスの負担、利用状況及び利用者属性を把握する。																								
(2) 関連計画及び上位計画の把握																								
上位計画となる自治体の総合計画及び都市マスタープランから、対象区域の将来都市像を把握する。また、関連計画となる立地適正化計画や高齢者福祉計画等の施策をとりまとめる。																								
(3) 既存の網形成計画・連携計画等の評価																								
地域公共交通計画の前進となる計画がある場合、実施された施策については、事業費や事業効果を把握する。実施されなかった施策については、その要因を抽出しとりまとめる。																								
2. 業務を進める手順と留意点、工夫点																								
(1) 課題の整理																								
鉄道駅やバス停の勢力圏と人口密度メッシュデータをラップし、沿線の人口集積状況を踏まえ課題を整理する。この時、関係者間で議論がしやすいようネットワーク図を作成する等見える化の工夫を行う①。																								

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24字×25字

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

① 私の指摘ではありますが改めて見ると、「見える化」は手段の一つであり、工夫点は議論をしやすくすることだと思います。→「ネットワーク図を用い課題を可視化するなど、関係者が議論しやすくなるよう工夫する。」

( 2 ) 目 指 す べ き 将 来 ネ ッ ト ワ ー ク の 設 定  
 立 地 適 正 化 計 画 が 示 す 将 来 的 な 都 市 構 造 や 公 共 交 通  
 軸 を 踏 ま え 、 目 指 す べ き 公 共 交 通 ネ ッ ト ワ ー ク を 設 定  
 す る 。 関 係 者 間 の 意 識 を 共 有 す る た め 、 交 通 モ ー ド や  
 運 行 本 数 等 の サ ー ビ ス レ ベ ル を 具 体 的 に 記 載 す る 工 夫  
 を 行 う 。 計 画 区 域 の 設 定 は 、 都 市 機 能 の 誘 導 や 増 進 に  
 関 す る 施 策 と の 連 携 に 配 慮 す る こ と を 留 意 す る ② 。

② 手順なので、業務内容を書いたうえで留意点を書きましょう。よって、前段の業務内容部分に計画区域の設定も加えましょう。→「・・・ネットワーク及び計画の区域を設定する」  
 また、追記によりスペースがなくなるので、後述部分を端的に表現すると良いでしょう。→「区域設定においては、都市機能の誘導や増進に関する施策との連携に留意する」

( 3 ) 施 策 の 設 定 と 目 標 値 の 設 定 ③  
 交 通 不 便 地 域 や ラ ス ト ワ ン マ イ ル を 補 完 す る モ ビ リ  
 テ ィ 対 策 等 の 施 策 ④ と 実 施 に 係 る 事 業 実 施 主 体 を 設 定  
 す る ⑤ 。 さ ら に 、 施 策 毎 に 利 用 客 数 や 運 行 回 数 等 の 目  
 標 値 を 設 定 す る 。 こ の 時 、 移 動 手 段 を 単 に 確 保 す る だ  
 け で な く 観 光 振 興 や 福 祉 的 観 点 を 取 り 入 れ る 等 、 地 域  
 の 実 情 に 即 し た 施 策 と す る こ と に 留 意 す る 。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ③ 目標と施策は、項目を分けた方が良いと思います。また、施策は目標設定後にすべきです（目標を達せさせるための施策であるべきだからです）。
- ④ ここでは施策の例示はなくても良いと考えます。これは、目標設定によって、とるべき対策（施策）は異なるからです。
- ⑤ これも、施策の項目の中で記述すべきです（施策の内容によって主体は変化するためです）。
- ※ 例えば、次のような構成になります。

(3) 目標の設定

計画の目標を設定する。目標は、アウトプット指標に加え、関係者に分かりやすいアウトカム指標も設定する。

(4) 施策の立案と実施主体の決定

目標を達成するための施策を立案するとともに、施策の実施主体も明確化する。この時、移動手段の確保だけでなく観光振興や福祉的観点などの地域特性に留意する。

(4) 達成状況の評価指標及び計画期間の設定

目標の達成状況の評価する数値等の⑥指標を定め⑦、  
計画期間を設定する。この時、立地適正化計画等の関連計画と連携した計画期間となるよう留意する⑧。

- ⑥ 不要。書くのであれば、「定量的な」が良いと思います。
- ⑦ 指標を定めた結果として、期間の設定があるわけではないので、「定めるとともに」がふさわしいと思います。
- ⑧ 連携は計画期間を合わせることの目的だと思いますので、ここは「連動」ではないでしょうか。また、スペースもないのでもう少し端的に表現すると良いでしょう。→「計画期間と連動するよう留意する」

3 . 調整方策

# 令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

( 1 ) 効率的・効果的な業務遂行のための関係者  
地域住民、国、都道府県、庁内関係機関、警察、地元企業、交通事業者、観光協会、社会福祉協議会等。  
( 2 ) 関係者との連携・調整について  
法定団体に対しては、法定協議会において利用状況等の情報に基づく協議を行う。住民に対しては情報提供だけでなく、協議会への参画やワークショップ、パブコメを通じて意見交換を行い調整する。以上

- ⑪ 情報の性質を補記すると良いでしょう。→「客観的なデータに基づき」
- ⑫ スペースがない場合、例示を一つ削ると良いでしょう。